

これまでの 活動を振り返って

地域おこし協力隊として活動した石井隊員の任期が10月末で終了しますので、これまでの活動内容を紹介します。

【問】地方創生課（本庁4階） ☎22・0500

まず、四半世紀ぶりに茨城県にUターンし、筑西市に3年間住んで実感することは、実に住みやすい場所であるということです。

この環境の中、とても良いタイミングで地域おこし協力隊の活動をし続け、個人では実現が困難なことを、協力隊という立場を最大限に活用しながらカタチにできたことが本当に良かったと感じています。

筑西市×安倍晴明

歴史的な魅力を発掘

特に個人的に思い入れがあるのが、宮山ふるさとふれあい公園内にある企画展示室（晴明館）の展示リニューアルです。

市誕生20周年の節目

筑西市と安倍晴明の繋がりは、移住後すぐに行った市内の史跡フィールドワークを通じて知りました。日本の歴史上、最も魅力ある人物と言っても過言ではない安倍晴明と、筑西市との関係について掘り下げるべく、精力的に調査活動をし、その成果をまとめました。

また、任期の期間中がちょうど筑西市誕生20周年にあたり、さまざまなイベントもありました。

特に『アイドルマスター』シリーズとのコラボ企画は活動の中でも楽しい思い出となりました。全国から訪れた多くのファンが晴明館にも足を運んでくださり交流ができました。

現在、晴明館には安倍晴明と、筑西市の郷土史跡に関することの2つの展示があります。フィールドワークを通して活動成果をまとめています

ので、ぜひご覧ください。

郷土史を次世代へ つなぐ懸け橋に

郷土の情報は、時代に合わせてアップデートしていかなければ、次の世代には伝わりません。次世代の郷土史家が現れるまで、この展示を大事にしたいだければ幸いです。

協力隊としての一連の活動は、ここで終止符を打つことになります。

任期満了後は、筑西市を生活の拠点として、興味のある神社や日本文化についての研究を進めていきます。



▶晴明館の様子



◀屋外での撮影



▲小栗内外大神宮で清掃の様子

いしい 石井 ともあき 智晃 隊員

土浦市出身。令和4年11月に地域おこし協力隊に着任。筑西市の歴史を中心とした情報発信や陰陽師・安倍晴明に焦点を当てた活動を行うとともに、フィールドワークを通じて地域の若者の郷土愛の醸成に取り組む。

今に含わせて伝えるから郷土は生き続ける



▲石井隊員がくもいのみやくにのあやつに雲井宮郷造神社（倉持）とコラボして製作したオリジナル御朱印帳など